

『一心千里』

走って見れば、見えてくる

永田隆一



第79回

2015年、スマートフォンが13億台を出荷してピークを打ったと言われております。中国で4・5億台を出荷した内訳は、97%が買い替えで、新規購入は3%であります。

10年前、小宮山宏さんが東大総長の時、「人工物は飽和する」と講演されました。自動車、セメント、鉄鋼、電化製品など、すべての人工物が国民の手に行き渡ってしまつたと、劣化更新のサイクルになって飽和してしまつことを、先進国の人口を物差しにして解説されました。

年が明けて、東京の新築マンションの購入契約率が50%前後と大きく低下

迷っております。

小宮山さんは「日本の世帯数は単身世帯を含めて5000万世帯。だが、5800万世帯分の住居

体に必要な閉塞感という共通認識が漂つてしまつたのであります。日本の古い体質の企業は「利益の源泉はコスト

険しい山越えの道を進むことも

勇気を持って下山することも

内で「付加価値が利益の源泉」と考えている企業は社員が生き生きしており、利益も確実に捻出しております。

また、インターネットを駆使して起業した企業や個人にも元気な方が大勢おられます。一途に険しい山越えの道を進むことも尊敬に値いたしますが、勇気を持って下山して付加価値という市場に

家族との距離感の取り方が分りませぬ。【半導体工場勤務】結婚して33年。妻は仕事を持っているので、33年間単身赴任。今年で定年を迎えますが、自宅には自分の居場所がありません。定年後は学生の街にアパートを借りて単身赴任を続けます。【半導体装置メーカー勤務】出身は千葉、会社は大

阪、ここ10年インドを任されて赴任、そして定年です。ずっと単身赴任でした。【材料メーカー勤務】大阪ミナミ道頓堀にかかる相合橋の南70mに「忍者居酒屋」を昨年11月にオープンした駿河幸太郎さんは69歳。チャンバラトリオの一番弟子です。くノ一のユリちゃん

がある。日本の人口は今後減少するので、新築一戸建て、新築マンションなど集合住宅は市場縮小のなか厳しい事業環境が待っています」とコメントされておりました。

日本という国は25年前のバブル経済で天井に達してしまひ、その後は「劣化更新サイクル」に経済が転換したがゆえにGDPも停滞し、社会全

体にならなかつたように筆者は考えます。活力のある豊かな社会・企業を考えてみますと、日本国

打って出ることは、さらに尊敬に値します。

日立製作所は終身雇用で、良い会社でした。研究開発、特許出願、海外での学会参加、良い人生でした。今はサンデー毎日。暇を持て余しております。【半導体メーカー勤務】

結婚して25年になります。17年単身赴任です。

と2人で切り盛りして繁盛しております。甲賀流、伊賀流の手裏剣、吹き矢

居合い抜きは天下第一。年明けに旅行代理店が外国からの旅行者を連れてくるプランを作成中です。【結局自分が好きなことをやるのが一番。六本木の交差点、飯倉のほうへ100m。】Bus House」ピ

ジフオーのリーター島田さんは69歳。女性5人はすべてプロの歌手。昼は学校の音楽家の先生やミュージカル女優。生バンドで歌ってくれるキャンドイズは絶品です。「これしかやっこなかつたから、これからもこれでいきます」。

神楽坂芸者の方りちゃんのお店「八仙」。神楽坂のお姐さんたちが立ち寄ります。「永田さん、私は若いころ、たくさんの人に迷惑をかけられたから、長生きして認知症になって、たくさんの人に迷惑をかけてあげなから、帳尻が合わないの。あー、楽しみ」。(毎月連載)